



あなたと 議会を結ぶ 議会だより



知名町議会議事堂 閉場式 令和6年3月11日

主な内容

- ◆ 議長議事堂閉場の挨拶 2
- ◆ 議員席全体写真 3
- ◆ 議員活動・議会閉場式 4
- ◆ 一般質問 5～12
- ◆ 令和6年 第1回臨時議会・定例会議決結果 13
- ◆ 議会の動き・議会傍聴 14



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

知名町議会議事堂 閉場式によせて

知名町議会議長
福井 源乃介



知名町議会議事堂の閉場式にあたり、先輩議員の皆様、歴代の事務局長の皆様にも御臨席を賜り感謝申し上げます、知名町議会を代表してご挨拶申し上げます。

さて、昭和38年に現役場庁舎3階（現在の企画振興課）にありました議会議事堂が手狭のため、新たな議会議事堂が建設され、昭和53年11月24日に落成開場、今日まで長い歳月を知名町とともに歩んで来ました。

昭和、平成、令和という時代の歴史の中で、これまでのべ190名の議員が、議会人としての使命を充分わきまえ、議会活動に奮闘していることにねぎらいと感謝を申し上げます。執行機関と議決機関は車の両輪とよくいわれているように議論を闘わせけん制し合い、互いに協力し合いながら町民の負託に応えるように努力してきました。町政の発展、町民福祉の向上、行政サービスの充実など白熱した議論が繰り広げられてきました。

本日、令和6年第1回知名町定例会最終本会議をもちまして45年間というその長い歴史に幕を閉じることになります。歴史の一部始終を見守り続けた議場に心から敬意と感謝を申し上げるとともに、新庁舎においても、更なる町発展のため取り組んでまいります。

結びに、開場当時の議長が正名出身の栄 池光先輩であり閉場式を正名出身の私が務めることに、運命的なものも感じているところでもあります。

これからも知名町議会が本町のさらなる飛躍に貢献する為に12名の議員が結束し、住民の意見・要望を聞く機関となり、次代を担う若者をはじめとする有権者の期待に応えて、住民に価値を届ける知名町議会の実現のために奮闘することを誓い、閉場式にあたり挨拶とします。

令和6年3月11日



久しぶりの議事堂



閉場式



現職議員12名



前職・現職議員懇談会



閉場式風景



議長から知事へ



塩田知事への要望・意見交換会

要望書

- ① さとうきび交付金の見直しについて
- ② 県道国頭知名線の知名字内、正名字内の改良工事について
- ③ 畑地帯総合整備事業(担い手育成型))区画整理工事に対する
予算確保および年度内工事完成について
- ④ 県職員の沖永良部事務所の在職期間の延長について



今帰仁村議会 行政視察

議会活動報告



議会改革推進会議

令和6年第1回臨時会・第1回定例会

知名町議会第1回臨時会は、2月16日に開催され新庁舎の造成工事及び道路改良工事の2件の変更契約を可決しました。

第1回定例会は、3月5日から11日までの日程で開かれました。

今定例会では、今井力夫町長の令和6年度施政方針表明があり、町政全般に対する一般質問に8名の議員が登壇し、庁舎建設事業、教育行政、農業振興策、道路政策、ふるさと納税等について活発な議論が交わされました。

議案審議では令和5年度一般会計補正予算(第6号)2億7,442万6千円を減額して総額8億4,641万6千円を含む、6特別会計補正予算を原案可決し、単独議案は全議案を原案可決しました。

また、令和6年度当初予算については、一般会計総額68億4,900万で、前年比マイナス16.5%の減、5特別会計及び水道事業会計と下水道事業会計を原案可決し知名町選挙管理委員及び同補助員を指名推薦しました。



8名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

5ページから掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。(質問順に掲載)

西
文男
議員



農業立町の持続可能な農業について

町長／緑肥種子の2分の1の補助をおこなった

動画配信は
こちら



緑肥栽培による土づくり

問 本町の農業形態はさとうきびを基幹作物に輸送野菜、花卉、葉たばこ等の耕種作物に肉用牛など幅広い品目が生産されている。化学肥料や農業を営むに必要な資機材、燃料も含めすべてが高騰し経営は厳しい状況である。肥料関係の値上がり分の補助はどのようなか伺う。

答 町長Ⅱ化学肥料の2割低減に向けた支援とし国内資源が活用されたペレット状肥料20kgにつき200円の補助、緑肥種子の2分の1の補助をおこなった。

問 農家に肥料や各種生産資機材等に高騰分の更なる補助が出来ないか伺う。

答 町長Ⅱ農林水産物輸送コスト事業で出荷支援しているところで

問 再質問：基幹作物のサトウキビを1反分の収益を計算すると、生産から収穫まで全て外注委託した場合の収入金額はマインス約1千700円となりました。作付け前砕土、調苗、植付、プリンスペイド2袋、BB400を3袋、中耕、除草剤散布、培土、ハーベスター料金、地代を含めた場合、基準糖度で1反平均収穫4・709t×2万4千616円＝11万5千916円合計金額です。農家の収入増のため、交付金の増額を求めます。

答 農林課長Ⅱ国や県に働きかけていきます。

問 放課後児童クラブの閉所時間を年間を同じ時間の18時30分に出来ないか伺う。



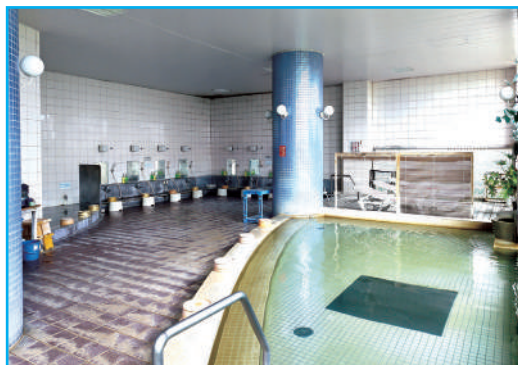
放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの基本料金の保護者負担軽減対策はできないか伺う。

答 町長Ⅱ「子ども・子育て市町村応援交付金事業」で計上されているので県からの情報を踏まえ導入について検討をしていきます。

問 フローラルホテルの大浴場を健康増進とコミュニケーションの場として多くの町民が利用しています。利用料金が大人は統一となっているが後期高齢者等に割引助成出来ないか伺う。

答 町長Ⅱ後期高齢者に新たな割引助成ではなく、現在実施している70歳以上の無料券配布で対応していきたいと思



フローラル館大浴場

今井吉男
議員



農家のゼロ借金政策を

町長／営農支援策を講じる

動画配信は
こちら



問 平成28年4月29日に田皆コミュニティセンター落成以降、通行車両が増、指定通学路の県道から田皆コミュニティセンター間の町道拡幅工事はできないか。

答 町長「フローラルホテルは知名町の経済と観光の需要拠点であり、今後も引き続き、町をあげて経営改善に取り組んでいく。」

問 知名町唯一のホテル、おきえらぶフローラルホテルの経営再建を実施して、町への建物使用料（年額1200万円）が支払える取り組みをすべきでは。

答 町長「物価高騰により、農業経営は厳しい状況にあり、町として営農継続に向けた支援策を講じていく。」

問 肥料、飼料の高騰や子牛価格の下落で、農業経営は厳しい状況下にある。早急に農家への支援策を打ち出すべきでは。

答 町長「字から要望書と併せて地権者の同意書があれば、道路整備要望の手引きに基づき優先順位評価を行い、事業の可否を検討する。」



田皆字通学路



弓削政己氏寄贈文献

問 弓削政己氏寄贈の文献・資料（約1万冊）は、約10年間倉庫に保管状態が続いている。教育委員会発行の「教育行政要覧」の中央公民館主催事業に、弓削政己文献資料の整理と記載されている。早急に整理し、一般公開すべきでは。

答 町長「奄美群島諸島史研究を牽引してきた弓削政己氏寄贈の文献・資料（約1万点）は膨大な作業量を伴うので、今後、文献・資料の整理にあたる職員体制を行い、資料の有効活用に向けた整理作業を進める。」

ゆげまさみ

福川勝久議員



太陽光パネルの最終処分は！

町長／PPA事業者がパネルの所有者である

動画配信は
こちら



住民説明会

問 太陽光パネル設置工事において、施工に関わる施工業者の割合を伺う（島内業者何％、島外業者何％）。

答 町長 太陽光パネル設置工事における施工業者の割合は、島内業者は2社33％、島外業者で4社67％となっています。

問 先月行われた住民説明会でゼロカーボンアイランドおきのえらぶ推進事業の内容を説明して、住民の理解度、反応はどうだったか伺う。

答 町長 住民説明会において、ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ推進事業について説明を行ったところ住民の皆様にご理解を頂けたと思っています。

問 使用できなくなった太陽光パネルの処分についてはPPA事業者が責任をもって処理ができるのか。

答 町長 PPA事業者が太陽光パネルの設置から処理まで行う。

問 省エネ・LED化・創・蓄エネ太陽光発電・蓄電池の導入を行うことで今後どれほどの効果が見込めるのか試算を伺う。

答 町長 公共施設における化石燃料由来の電力需要量は、年間549万キロワットアワーを太陽光パネルの再エネで電力を供給し、新庁舎のゼロLED化や公共施設のLED化で電力需要量が合

計年間24万9920キロワットアワーの削減効果が見込めます。再エネ導入量における削減効果額は、計算が複雑なため九州電力送配電の月額が1210円キロワット。PPAは月額1182円キロワットの差額28円が削減効果となります。次に省エネ化による削減量は、59世帯分に相当し、本年2月の住民基本台帳世帯数の2％となります。

なお、省エネ化における削減効果額は約300万円になる見込みです。



太陽光パネル 社会福祉協議会駐車場



太陽光パネル 知名中テニスコート



太陽光パネル 認定こども園駐車場

川畑光男
議員



マイナンバーカードについて

町長／マイナンバーカードの更なる取得促進 一体化を目指す

動画配信は
こちら



グリーンスローモビリティ

問 マイナンバーカードの保有率は現在で79%となっているが、今後の取得に向けた計画はどのようなものになっているか伺う。

答 町長 Ⅱ 非課税対象世帯1、038世帯に対して、3月1日時点で、952世帯に振込を実施し、91.7%の支給率となっております。

問 新庁舎から商店街への交通弱者の移動方法について、どのように考えているか伺う。

答 町長 Ⅱ 本町では昨年8月にヤマハ発動機・名古屋大学との包括協定を締結し、自動運転を含めたグリーンシティの活用について検討を進めています。来年度は町新庁舎周辺を想定し、地域住民との協議・車両整備の検討に取組む予定です。

問 非課税世帯物価高騰重点支援給付金の支給状況はどのようになっているか伺う。

答 町長 Ⅱ 今後は、取得したいとの意思があるにも関わらず障害や病気など、何らかの事業により外出が困難で取得に至っていない方々を対象に、高齢者施設や個人宅を訪問し出張申請受付を行うことにより取得促進を図っていきたいと考えています。

問 町長 Ⅱ 今後は、取得したいとの意思があるにも関わらず障害や病気など、何らかの事業により外出が困難で取得に至っていない方々を対象に、高齢者施設や個人宅を訪問し出張申請受付を行うことにより取得促進を図っていきたいと考えています。



出初め式

問 町長 Ⅱ 消防出初め式パレードについて、地域の安心と安全を守る消防団員を町民に広く知ってもらうため、商店街を通るパレードはできないか伺う。

答 町長 Ⅱ ご指摘のとおり、消防団員を町民に広く知っていただく手段として、商店街を通るパレードは有効であると思われまます。しかし、安全確保のための道路封鎖や交通整理員の配置、マーチングバンドの体力的な負担などを考慮する必要があります。来年の出初め式パレードについては、スタート位置も含めて消防団員と協議をしたうえで、必要に応じて関係機関とも協議を行います。



新庁舎

問 令和5年度の町長の施政方針について。商工業、観光、地域の活性化に向けた取り組みが見られないようですが、どのような考えを持っているのか伺う。

答 町長 Ⅱ 第6次知名町総合振興計画における3つのミッションの3番目「未来を支える産業競争力の強化と次世代を担う人づくり」を実現するために、基幹産業である農業・水産業をはじめとした商工業の連携を推進し、産業競争力強化と起業・継業に意欲を持って働ける仕事の創出・就業支援、次世代の担い手をつくる教育の振興を推進する。

窪田
仁議員



企業版ふるさと納税の拡充を

町長／より一層の寄付活動に務める

動画配信は
こちら



農業振興について

問 第6次知名町総合振興計画で稼げる地域をつくる農業・水産業・観光業を軸とした農工商連携や6次産業化の中から農業振興について伺います。

答 ①高齢化に伴う農業者の減少が、今後10年間でさらに進む、新規の農業者を増やして農畜産物生産高50億円を目標とした対策は進んでいるのか伺う。

答 農林課長 50億円の達成は容易ではない。各種の補助事業の活用により新規就農者の確保及び支援を関係機関と一体となって、農家の所得と、生産額の向上が図られるよう取組んでまいります。

問 ②新規就農者育成総合対策事業に対象者を加入しやすい仕組みはできたのか伺う。

答 農林課長 関係機関と連携し、新規就農者の支援が図られるよう努めてまいります。



ふるさと納税について

問 ①前年度の納税額はいくらで本年度の目標について伺う。

答 企画振興課長 令和4年度のふるさと納税寄付総額は約6千万円、令和5年度の目標額は7千万円と定め2月26日時点で納税寄付総額は約5千400万円となっております。

問 ②使途についてと今後の目標と展望について伺う。

答 企画振興課長 使途に沿った事業を展開し、厳選な選考のもと、まちづくり基金活用事業に取組んで参ります。

問 ③農業・漁業・観光業を軸とした農工商連携や6次産業化への配分はどうか伺う。

答 企画振興課長 ふるさとまちづくり基金に極力頼らない施策に務めております。

問 ④企業版ふるさと納税の状況について伺う。

答 企画振興課長 令和4年度寄付総額が620万円、現時点で500万円の寄付額、より一層の寄付活動に努めて参ります。

地産地消について

問 ①地産地消の取組みについて。生産者数や販売高はどうか。

答 農林課長 生産者数は、分からず販売額は、推計で2千211万円となっております。

問 ②主食の米を地場農産物に追加できないか伺います。

答 農林課長 地元で生産消費されれば、地場農産物としての取り扱いとなります。

道路整備について

問 ①県道下平川内城線の上平川と久志検側の間は、経年劣化で凸凹が激しい。整備できないか伺う。

答 建設課長 畑地かんがい施設のパイプラインの更新が予定されている。

問 ②前回に続き（令和4年12月道路整備3-②）町道知名瀬利覚線の道路整備について伺います。

答 建設課長 舗装の一部打ち換えを計画しております。



知名町瀬利覚線を一部打ち換え補修



畑かんパイプラインの埋設時に併用舗装を要請

宗村
勝議員



町民全員が防災意識を徹底

町長／今後も関係機関と連携をとり
防災対策に努めてまいります

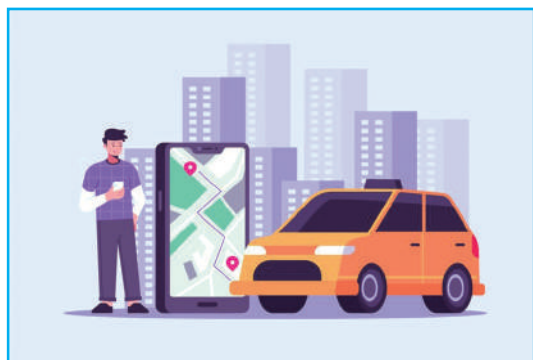
動画配信は
こちら



総合防災訓練

問 今年1月1日に能登半島において大規模な地震が発生して各地で甚大な被害を受けた犠牲者が多数いらっしゃると思います。対岸の火事と思うことなく教訓として本町も徹底した防災対策を構築すべきだと思いますか。

答 町長 議員ご指摘のとおり災害はいつ、どこで起こるかわかりません。今後も関係機関と連携をとり、防災対策に努めてまいります。具体的には、昨年和泊町と合同で土砂災害を想定した総合防災訓練を自衛隊、警察、消防署と一体となり実施しましたが来年度は、より身近で実践的な訓練が実施できるよう関係機関と協議してまいります。



ライドシェア

問 近年タクシーの運転手不足等により全国的に住民の移動手段に困難が生じているみたいですが、今年四月に国がライドシェアを認可すると報道されており、買い物弱者や交通弱者にとって大変助かると思います。本町の考えを伺います。

答 町長 新たなサービスは、タクシー配車アプリの対応車両が70%を超える都市部や観光地が対象になる見込みです。決済においてもキャッシュレスが前提とされます。本町においては交通弱者・買い物弱者は高齢者が多く、ITリテラシーに乏しいことから導入については課題が多く難しいと考えています。

答 教育長 子供たちがスポーツに継続して親しむ事が出来る機会を確保することは、学校の働き方改革を推進し、学



中学校の部活動

問 少子化や教職員の働き方改革を見据え部活動を学校の外で地域移行にするように勧められていますが、本町の場合二年目になります。完全移行できるのか、移行した場合指導者の確保や報酬等はどうか伺う。

学校教育の質の向上にもつながるとされており。したがって部活動の地域移行は早急にならない課題であると考えています。本町ではスポーツクラブLOVEに運営を委託し本格的に部活動の地域移行を進めています。

答 町長 戸籍等の書類の公用請求出来る機関は国または地方公共団体と明記していることから、認可地縁団体は対象外となります。

問 町内各集落の不動産名義は『区長他何名』と登記されており、認可地縁団体になったり、字は字名義にする事が出来ます。そのためには関係者多数の戸籍等の書類を取得する必要があります。その事に限り公用扱いにできないか。

新山直樹議員



公営住宅PFI事業導入は

町長／多くの事業手法を検討

動画配信は
こちら



問 田水団地の建て替えの規模縮小が考えられるが今後の計画や構想は。

答 町長 公営住宅長寿命化計画においては、70戸から42戸に縮小することで計画をしており、来年度に基本構想を策定し、人口減少、社会情勢を見据えた上で総合的に判断し、規模や着工年度が決まっていこうと考えています。



田水団地

問 I事業の検討調査事業を実施し、来年度に策定予定の基本構想において、事業手法を含めた事業設計を行って行きたいと思っています。

問 町道のガードレールやガードパイプの取り換え、側溝の清掃、伐採計画は。

答 町長 町道については、17.2路線、総延長約23.0kmを4名の職員で伐採、路面補修を行っています。管理については、道路パトロールや地域の方からの通報や要望を基に緊急性があるものを優先しながら、各イベントが開催される時期に関連する道路の伐採をするなど優先順位を決めて対応しております。



カーブミラーの取替



側溝作業

問 観光資源を維持、管理する目的で入洞税の導入はできないか。

答 町長 コロナ前の平成30年度と比較すると来島者は約7割程度、昇竜洞の入場者数は約6割程度持ち直してあります。本町としましては、昇竜洞を令和6年度から県の魅力ある観光地づくり事業を活用し、本格的に工事を開始する予定としており、工事が完了した際は、入洞料金の見直しを予定しております。

問 各小中学校は避難所に指定されているが、設備や備品の設置状況は。

答 町長 比較的大規模の大きな災害の発生が見込まれ、避難者が多くなりそうな場合は、町で管理、保管している簡易ベット、マット、毛布等を配置する事といたします。

問 教員住宅の屋根防水、外壁塗装等の修繕計画は。

答 町長 基本的な方針は示されていますが、補助事業がなく、財源を確保する事ができず、修繕の目途はありませんが、小規模修繕は町の予算で対応してます。



教員住宅

動画配信は
こちら↓



地域が取り組む活動の財政的支援を

町長／字が主体的に考え、提案することは大いに応援していく



外山利章 議員

字づくりに向けた取り組みについて

問 字の現状と課題について話し合う機会創出に向け取り組むべきではないか。

答 町長 住民が字の問題を自らの課題として捉え、当事者意識の醸成を行うことが非常に大切であると考えます。

* 住吉字ではどのような字を目指すのかに向けて話し合い、その実現に向けた「字版総合計画」づくりを町の事業を活用して取り組んでいる。

字版総合計画

若い人や子どもが多く、活気あふれる字

短期目標	中期目標	長期目標
令和6年	令和7～8年	令和9～10年
・住吉を学ぶ、地域塾の開催 ・中高生の行事参加 ・公園内へのこみ箱設置 ・振興センターへのwifi設置	・大学など外部人材との連携 ・コミュニティスクールとの連携 ・ベンチ、遊具の設置 ・振興センターへのクーラー検討	・字誌発行 ・幼稚園跡地の活用 ・武道館の整備、活用

問 まずは字の課題把握に向けた集落点検を全字で行ってはどうか。

答 企画振興課長 字が主体的に課題把握、解決に向けた取り組みを進めれば字発展に繋がるものと考えます。

問 区長会で住吉字の取り組みを紹介し、集落点検に取り組みたい字についての要望を取ってはどうか。

答 総務課長 区長会において告知して、ぜひそのような働きかけを行っていききたいと思えます。

問 取り組みを進めたいが、人材の不足等で取り組むことができない字をサポートする「集落支援員制度」の導入について検討するとの回答を得ているが検討はなされているのか。

答 企画振興課長 現在、人選及び必要とされる研修について、課内検討を行っているところである。

入念に検討を進めていく予定です。



まちづくり事業(集合写真)

問 字の将来ビジョンに基づいた取り組みを財政的に支援する「字交付金制度」を創設してはどうか。

答 町長 現在、地域づくりや地域の賑わいを目指した取り組みを支援する「まちづくり活動支援事業」を実施しています。まずはこれらを活用し、字の方針を定めて頂いたうえで、その活動を支援するため交付金を創設するか検討して参ります。

* 字、町を作るのもそこに住む住民一人ひとりがどのような地域にしたいのか主体的に考え、取り組んでいくことが最も大切だと考える。行政としてその取り組みをサポートすることを強く要請する。

災害予測と防災、減災対策について

問 沖永良島で想定される地震、津波による被害はどのよう予測されているか。

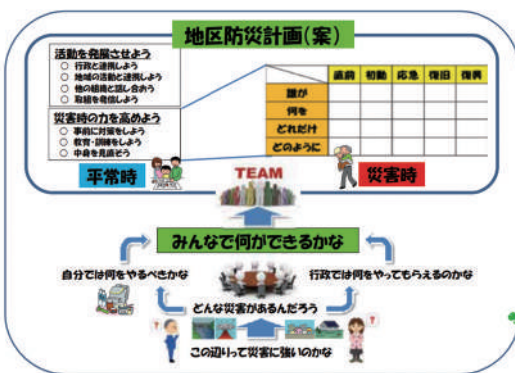
答 町長 本町への影響が大きいのは「奄美群島太平洋沖・南部地震」で震度六弱、4.85メートルの津波により、全半壊による建物被害、死者、負傷者などの人的被害、経済被害は150億と想定されています。

問 想定以上の津波があることも考えられる。危険地域と言われる地区に対し、周知を行っているか。また訓練は行われているか。

答 総務課長 周知、訓練を行ったことはありません。対象地域に対しては今後、周知広報し、訓練についても検討して参ります。

問 各字での避難や避難所運営の指針となる地区防災計画は策定されているか。

答 町長 策定が進んでいないのが現状です。区長会等で地区防災計画の必要性および作成手順を説明し、普及に努めて参ります。



地区防災計画案

問 行政の業務継続計画に基づく訓練や計画の見直しは行われているか。

答 町長 新庁舎の移転に伴い、訓練内容も含め見直しを進めて参ります。

令和 6 年 第 1 回知名町議会臨時議会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第 1 号	工事請負変更契約の締結について	可 決
議案第 2 号	工事請負変更契約の締結について	可 決
議案第 3 号	工事請負変更契約の締結について	可 決

令和 6 年 第 1 回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
承認第 1 号	令和 5 年度知名町一般会計補正予算（第 5 号）について	承 認
議案第 4 号	令和 5 年度知名町一般会計補正予算（第 6 号）について	原案可決
議案第 5 号	令和 5 年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について	原案可決
議案第 6 号	令和 5 年度知名町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について	原案可決
議案第 7 号	令和 5 年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決
議案第 8 号	令和 5 年度知名町水道事業会計補正予算（第 3 号）について	原案可決
議案第 9 号	令和 5 年度知名町下水道事業会計補正予算（第 4 号）について	原案可決
議案第 10 号	第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例について	原案可決
議案第 11 号	第 2 号会計年度任用職員の給与等に関する条例について	原案可決
議案第 12 号	知名町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 13 号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第 14 号	知名辺地総合整備計画について	原案可決
議案第 15 号	知名町役場一条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 16 号	知名町フローラルパークの指定管理者の指定について	原案可決
議案第 17 号	知名町空き家利活用事業に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第 18 号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 19 号	知名町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 20 号	知名町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 21 号	知名放課後児童クラブの指定管理者の指定について	原案可決
議案第 22 号	知名町給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 23 号	工事請負変更契約の締結について（令和 4 年度 知名町新庁舎新築工事 1 工区（建築・電気設備））	可 決
議案第 24 号	工事請負変更契約の締結について（令和 4 年度 知名町新庁舎新築工事 2 工区（建築・機械設備））	可 決
議案第 25 号	工事請負変更契約の締結について（令和 5 年度 知名町新庁舎新築工事（付属棟・外構））	可 決
議案第 26 号	工事請負変更契約の締結について（令和 5 年度 下平川小学校予防改修工事）	可 決
議案第 27 号	令和 6 年度一般会計当初予算について	可 決
議案第 28 号	令和 6 年度知名町国民健康保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第 29 号	令和 6 年度知名町介護保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第 30 号	令和 6 年度知名町後期高齢者医療特別会計当初予算について	原案可決
議案第 31 号	令和 6 年度奨学資金特別会計当初予算について	原案可決
議案第 32 号	令和 6 年度知名町土地改良事業換地清算特別会計当初予算について	原案可決
議案第 33 号	令和 6 年度知名町水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第 34 号	令和 6 年度知名町下水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第 35 号	財産（新庁舎備品購入業務 1 工区）の取得に係る変更契約の締結について	可 決
議案第 36 号	財産（新庁舎備品購入業務 2 工区）の取得に係る変更契約の締結について	可 決
議案第 37 号	財産（新庁舎議品購入業務 3 工区）の取得に係る変更契約の締結について	可 決
議案第 38 号	財産（議場システム整備事業）の取得に係る変更契約の締結について	可 決
選挙第 1 号	知名町選挙管理委員会及び同補助員の選挙について	決 定
発議第 1 号	議員派遣の件について	決 定
決定第 1 号	閉会中の継続調査の件について	決 定
決定第 2 号	閉会中の継続調査の件について	決 定

議会の動き

12月

- 12日・第4回定例会
- 13日・第4回定例会
- 14日・第4回定例会
- 20日・沖永良部バス議会
 - ・令和5年第1回沖永良部衛生管理組合議会臨時会
 - ・沖永良部与論地区広域事務組合議会

1月

- 6日・全員協議会（知事への要望書）
 - ・経済建設常任委員会 議員研修協議
- 19日・経済建設常任委員会（農業委員会研修）
- 24日・塩田康一知事への要望・意見交換会
 - ・第5回鹿児島県議長会理事会
 - ・市町村議会議員研修会
- 25日・経済建設常任委員会

2月

- 2日・上下水道運営委員会
- 6日・議会運営委員会
 - ・全員協議会
 - ・議会勉強会 令和6年度固定資産税（土地）の課税

2月

- 6日・議会勉強会 沖永良部土地改良区事業説明
 - ・議会勉強会 上下水道運営事業説明
- 9日・第2回全国離島振興市町村総会
- 16日・議会改革推進会議
 - ・第1回議会臨時会
 - ・全員協議会
 - ・各常任委員会
 - ・ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ特別委員会打ち合わせ
- 19日・令和6年第一回総合事務組合議会定例会
- 20日・議長会定期総会
 - ・離島市町村議長会定期総会
- 26日・議会運営委員会
 - ・提出議案説明会
 - ・全員協議会
 - ・議会改革推進会議
 - ・ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ特別委員会
 - ・令和6年度知名町奨学生推薦会
 - ・議会勉強会
 - ・グリーン専門人材派遣実績報告
 - ・南北広域連携事業の取り組み状況報告
- 27日・市町村議会議長会
 - ・奄美群島広域事務組合議会定例会

3月

- 5日・第1回定例会



議会を傍聴してみませんか。

- 発行：鹿児島県知名町議会
- 編集：議会報編集委員会
- 発行日：令和6年5月10日
- 〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名1100
TEL 0997-93-3119

議会の定例会は、年4回（通常3月、6月、9月、12月）開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。

やぐ一本中継

議会の模様をインターネット配信しています。パソコンやタブレット端末などでライブや過去の中継記録映像をご覧いただけます。知名町ホームページ、議会中継のバナーをクリックしてください。